

守山市環境施設対策市民会議 視 察 研 修 報 告

1. 視察目的

現在、市民会議では施設整備の基本方針・内容及び施設の建設場所の考え方などの具体的な議論を進めており、今後、施設の付帯施設のあり方についても、その具体的な内容の協議を進めていくことから、他自治体の付帯施設の整備状況を把握し、本会議での参考とするために視察研修を実施した。

2. 視察対象施設

- ① リサイクル館かしはら（橿原市東竹田町 1－1）
 - ② エコライフ紀北（橋本市高野口町大野 1 8 2 7－2 8）
- 焼却施設の見学後、以下の施設を視察。（周辺環境整備）
- ・紀望の里 ひとと紀館（温浴施設・直売所）

3. 視察日時

- ① 平成 25 年 10 月 8 日（火） 午前 10 時 30 分から正午まで
- ② 平成 25 年 10 月 8 日（火） 午後 2 時 00 分から 3 時 30 分まで

4. 参加者

環境施設対策市民会議委員ほか 合計 20 名

5. 質疑・応答

【リサイクル館かしはら】

Q01：市民にお願いしている分別はどのようになっているか。

A01：①可燃ごみ、②不燃物・粗大ごみ、③ペットボトル・プラスチックボトル、④あきカン・あきビン、⑤新聞・雑誌・ダンボールの 5 種類の分別をお願いしている。各家庭に、あきカン・あきビンの専用ケースを置いており、収集は直営で行われている。あきカン・あきビンの回収率は 58%ぐらい。月 2 回収集。集積所に、ペットボトル・プラボトル専用回収ネットを置いている。

Q02：なぜクリーンセンターとリサイクルプラザが別の場所にあるのか。

A02：かつてクリーンセンター建て替えの際、318t/日の施設規模が必要と推計されていたが、当時の既設クリーンセンターは 180t/日の施設規模であったため、社会的な重要性として、まず最初にリサイクル施設を整備することとなった。その後、焼却施設を整備したため、場所が離れることとなった。本当は近接しているほうが効率的

であるが、確保できる用地の広さの都合や、また地域間での負担を分散するという目的もあり、離れた場所に建設することとなった。

ただし、実際に運営してみると、市民にとって、持ち込みごみをどちらに持っていったらよいのか戸惑う場合もあるので、ご迷惑をおかけしている部分もある。

Q03： 橿原市クリーンセンターは、元々クリーンセンターがあった場所に建て替えたのか。

A03： 元々あった場所での建て替えであった。

Q04： リサイクル施設の近くに学校があるが、問題なかったのか。

A04： リサイクルプラザについては環境への影響が小さいことを説明し、環境学習の拠点施設として整備することで地元の理解を得ることができた。結果的には、学校統廃合の都合上、廃校になったため全く問題なかった。

Q05： 家電の受け入れをしているが、リサイクル料などはどのようにしているのか。

A05： 本来であれば正規の手続きを踏み、リサイクル料を収めた上で処理していただくべきなので、そちらを案内するようにしている。リサイクルプラザで受け入れる場合は、別途保管料を 3,000 円徴収している。

Q06： 付帯施設の内容はどのように決められたのか。

A06： 先進的な自治体（吹田市）から、リサイクル工房等のアイデアをいただいた。

Q07： リサイクルブックの選別の方法はどのようにされているのか。

A07： 紙類のストックヤードに搬入されたものから、きれいなものを職員が手で選んで、本棚に並べている。

Q08： リサイクル自転車はどれぐらいの値段で売れるのか。

A08： 3,000～4,000 円で販売している。

Q09： 家具再生工房はどうやって運営しているのか。

A09： 元々家具屋だった方をシルバー人材センターから紹介してもらって修理をしてもらっている。

Q10： 付帯施設の運営費はどれぐらいか。

A10： 支出については、平成 24 年度の実績で、ガラス工房が、111 万 1,000 円（講師料は 11,000 円/人）。自転車工房が、18 万 4,000 円（講師料は 5,600 円/人）。家具再生工房が、63,000 円（講師料は 5,600 円/人）であった。

売り上げとしては、自転車工房が約 22 万円、家具再生工房が約 10 万円であった。

【エコライフ紀北】

Q01：本施設が出来る前は、ごみはどのように処理されていたか。

A01：現在の施設は 1 市 3 町（橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町）で使用しているが、施設が出来る前は、1 市 4 町 1 村（橋本市・高野口町・かつらぎ町・九度山町・高野町・花園村）がそれぞれで処理が分かれていた。橋本市、高野口町、及び高野町にはそれぞれ焼却施設があったが、他は民間委託で処理されていた。元々あった焼却施設は、橋本市については美化センター職員棟として一部残しているが、それ以外は全て解体・撤去し、公園として再整備した。

Q02：施設の運転は委託か。

A02：委託である。今年 4 月から 10 年間の長期包括委託を行っている。

【守山市の場合】 単年度毎の運転委託契約。

Q03：建設場所はどのように決まったか。

A03：元々は別の場所を予定地としていたが、住民からの反対があり、その後、構成市町村で候補地を挙げた中で、今の場所に決まった。

現在の場所は、元々は山林・樹園地であり、谷深い場所であったため、京奈和自動車道の建設残土を利用して造成した。

Q04：この施設が老朽化した際にはどうされる予定か。

A04：20 年間運転し環境影響が少なければ、延長させていただけることになっている。現施設が老朽化した際には、敷地内の、現在芝生としている場所に建て替えを行う予定。

Q05：地元からの反対はなかったのか。

A05：地元からは反対なかったが、少し離れた場所の住民からは白紙撤回を求める声もあった。その理由は、施設のある地域は、大気が逆転層となることが多いため、排ガス中の有害物質が遠くに拡散してしまいやすいということであった。また、元々はガス化溶融を考えていたが、事故が多かったことで信頼性が問題視され反対されることもあった。24 時間運転ということで迷惑施設と捉える声が多かった。

Q06：どのように同意を得たか。

A06：法規制値よりもはるかに厳しい公害防止基準を定め、高野口中学校の場所では、24 時間大気測定をし、モニタリングを実施することとした。

Q07：公害防止基準についてはどのように決められたか。

A07：地元に詳しい方がおり、相談しながら設定した。

Q08：煙突の高さはどれぐらいか。

A08：59m である。

【守山市の場合】50m

Q09：事業系ごみの量はどの程度か。

A09：橋本市の一部の事業者に限って受け入れている。8 割が家庭系で、2 割が事業系である。

【守山市の場合】7 割が家庭系、3 割が事業系。

Q10：手選別はかなり大変ではないかと思ったが、施設の運転上で困ったことはないか。

A10：現状特に問題なく運転できている。手選別等についても地元雇用につながっている。女性職員も多い。

Q11：焼却残渣はどのように処分しているか。

A11：大阪湾フェニックスで処分している。

【守山市の場合】大阪湾フェニックスと市最終処分場で処分。

Q12：発電はどの程度行っているのか。

A12：年間の必要電力量の約 7 割を賄っている。

Q13：温浴施設の運営状況について教えてください。

A13：利用者数は、平成 23 年度は年間約 47,000 人、平成 24 年度は年間約 46,000 人であった。1 日あたりでは、約 149 人と計算される。当初の予想では、年間 17,000 人程度を想定していたが、予想外に多く利用されている。運営については、年間 1,000 万円で委託契約を結んでいる。焼却施設からは直線距離で 515m 離れている。

Q14：温浴施設については地元の要望を取り入れたものか。

A14：地元地域と隣接地域の要望を聞き、温浴施設、集会所×2、児童館の耐震工事、道路整備 2 ヶ所、水道整備など、計 7 つの案があがったが、その中から、予算との見合いの中で順位付けをして決めた。

Q15：施設の建設費の財源内訳を教えてください。

A15：後日回答いたします。

＜参考（後日回答いただいた内容）＞

交 付 金	1,391,797,000 円
起 債	2,925,200,000 円
一般財源	418,503,000 円
計	4,735,500,000 円

【リサイクル館かしはら】



リサイクルプラザ外観



ストックヤード



ストックヤード(紙類)



施設模型



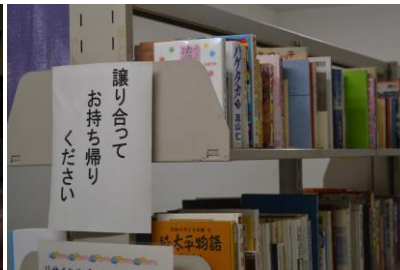
施設模型(工場棟部分)



担当者からのご説明



プラットホームの見学



リサイクルブックコーナー



リサイクルブックコーナー

【リサイクル工房】



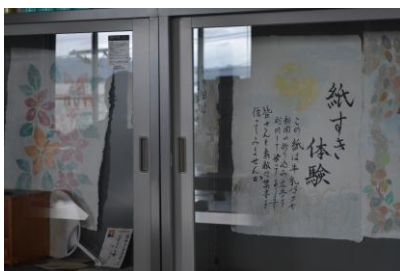
布工房



布ぞうり



紙すき工房



紙すき作品



紙すき作品の見学



紙すき作品



木工リサイクル作品



再生家具展示場



家具再生工房



ガラス工房



ガラス工房



ガラスリサイクル作品



自転車再生工房



材料部品をとるための自転車



再生自転車工房見学

【啓発コーナー】



啓発コーナー



啓発コーナーのキャラクター



啓発シアター



啓発シアター



啓発パネル



立体映像による啓発映像

【エコライフ紀北】



工場棟外観



計量棟



会議室で説明を受ける



ごみピットの見学



手選別場の見学



説明を受ける見学者

【温浴施設（紀望の里 ひとと紀館）】



温浴施設外観



温浴施設の入り口



草花の直売所



農産物の直売所



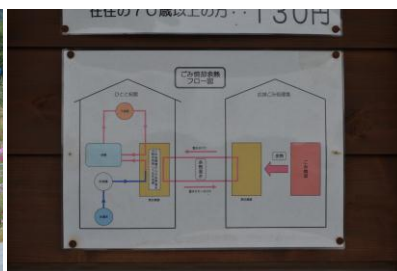
喫茶室



お惣菜売り場



施設周辺の花畑



余熱利用の仕組み



風呂場